

次世代の土木業者として、地域の 土地を開発・再生し、守り続ける

2012年（平成23）に株式会社町組から株式会社グロージオへ社名を変更するとともに、安全衛生教育の強化を推進。社内、協力会社、外部審査の3つの視点で定期的に安全パトロールを実施している。

株式会社グロージオ・静岡県

社名変更にした意思

株式会社町組は、2012年（平成24）7月1日に株式会社グロージオへ社名変更を行い、社屋を島田市中溝町から同市内の御飯屋町へ移転し、営業を開始した。

「グロージオ」とは、GROW+GEO。GROWは育てる・育む、GEOは大地・地球を意味している。「土地を育てる」という言葉には、「次世代の土木業者として、土地を開発、再生、維持保存することの重要性を自覚する」という意味が込められている。

富士山静岡空港や、新東名高速の施工受託など、静岡県の発展とともに成長し、創業60年を迎えた同社は、公共事業が事業の7～8割を占めている。

社名変更と同時に、同社では安全方針を新たに策定し、積極的に労働安全衛生活動を押し進めてきた。平成24年度の安全衛生管理計画では、安全衛生方針・目標として以下を掲げ、無事故無災害に努めている。

[安全衛生方針]

安全をすべてに優先させ、コンプライアンスを徹底し、社員全員の安全に対する意識の向上を推進する。

[安全衛生目標]

1. 死亡災害、重大災害をゼロにする
2. 事業継続計画の充実と、災害時緊急対策連絡網の周知
3. リスクアセスメントの確実な実施と、ヒヤリハット活動の活性化を図る
4. エコアクション21に基づく環境整備活動の充実

安全労務士による安全パトロールの様子



「藤枝すみれの会」による美化活動

12月に行われた外部安全衛生教育



5. コンプライアンスの徹底

また、2011年に発生した東日本大震災がきっかけとなり、東海地震の発生に備え、協力会社との緊急災害時における協力体制を結んでいる。

安全衛生協力会との連携

59社あるグロージオの協力会社（鉄骨工事業、建設業、給排水業者等）で組織された「安全衛生協力会」は、社内だけでなく、協力会社で働く方々に向けて、各施工現場での安全衛生を推進することをねらいとしている。

もともと現場へは安全環境室の社員が毎月1度、現場へパトロールを行っていたが、外部の視点からもチェックが必要だという考えから、さらに年に2度、安全衛生協力会会員と、社内の幹部が合同で班を編成し、パトロールを行うようになった。

また、年に1度、7月に行われる安全大会では、安全衛生管理計画の周知を行い、安全衛生について特に優秀な社員ならびに安全衛生協力会会員の表彰を行っている。

同社では、安全衛生協力会会員に向けて月に1度、会報を発行し、情報共有や安全についての標語などを作成し、啓蒙活動を進めている。

施工現場に立った経験のない新入社員にとって、安全衛生教育はなくてはならないものとなっている。土木技術などを学ぶ半年間の新人研修のうち、2日間を使い、『新入者安全衛生教育』（中央労働災害防止協会刊）を指導書として、1から安全についてのいろはを教育している。

安全衛生のプロの視点、地域の視点を

2007年（平成19）から年に1度、建設業労働災害防止協会から安全労務士を招き、各施工現場をチェックする機会を設けている。安全衛生のプロの視点から、是正点を示してもらうことで、現場で見落としがちな点をカバーし、次年度に活かす大切な役割となっている。2012年には、安全労務士を招き、12月17日から18日の2日間をかけて審査を行った結果、大井川道悦対策護岸工事でのキャプタイヤの緩みの指摘などを受けた。

また、施工現場への美化対策、地域貢献の一貫として、社長が理事長を務めている地域の身体障害者の子供たちでつくられた社会福祉法人「藤枝すみれの会」のメンバーが、各現場や本社へプランターに花を植えている。

特別教育の実施

グロージオでは、社員及び協力会社の方々の技術取得のために、随時、特別教育を行っている。特別教育では、足場組立の能力向上教育及び移動式クレーン車両系建設機械をはじめ、玉掛業務の安全衛生教育、ローラーの運転や刈払機の取扱いなどの教育も必要に応じて実施している。

最近では、2012年（平成24）7月7日に行われた「不整地運搬車の運転業務に係る特別教育」において、学科カリキュラムと実技教育に分け、以下の内容の特別教育を実施した。

1. 講習科目

- ・ 不整地運搬車の走行に関する装置の構造及び取り扱いの方法に関する知識
不整地運搬車の原動機、動力伝達装置、走行装置、操縦装置、電気装置、警報装置、及び走行に関する附属装置の構造及び取り扱いの方法（2時間）
- ・ 不整地運搬車の荷の運搬に関する知識
不整地運搬車の荷役装置及び油圧装置の構造及び取り扱いの方法並びに荷の積卸し及び運搬の方法（2時間）
- ・ 不整地運搬車の荷の運転に必要な力学に関する知識
力（合成、分解、つり合いモーメント）質量、重心及び物の安定、速度及び加速度、荷重（1時間）
- ・ 関係法令
法、令及び安衛則中の関係条項（1時間）

2. 実技教育

- ・ 不整地運搬車の走行の操作

基本操作、定められたコースによる基本走行及び応用走行（4時間）

- ・ 不整地運搬車の荷の運搬

基本操作、定められた方法による荷の運搬（2時間）

特別教育では、終日の研修で資格を取得できるものが多いため、現場での能率の向上と現場で働く個人のスキルアップ、安全衛生への学習と理解を深めることに一役買っている。

平成 24 年度全国安全週間パトロール予定表

月・日	パトロール者氏名	現 場 名	免 注 者	現場担当者
7月 1日 ～ 7月20日		沼津維持橋梁補強補修		
#		東河内治山		
#		大乳北沢治山工事		
#		島田吉田線(第4工区) 島田吉田線配水管布設工事		
#		治山(復旧)西向沢工事 中溝大津通り線配水管敷設工事		
#		新幹線静岡西地区耐震補強工事 JR東海掛川統括作業所		

※ 印の方はお手数ですがグループ内の連絡調整をお願い致します

現場安全パトロール実施予定表

日 時 平成 24 年 12 月 17 日(月)・18 日(火) 2日間

パトロール巡回予定日時	現 場 名	現場代理人
12月17日 9時30分	静岡駅到着～移動	
12月17日 10時30分～	H24年度 大井川道悦対策護岸工事	
12月17日 13時30分～	H23年度 島田吉田線(4工区道路工)他	
12月17日 15時00分～	H24年度 吉田水路整備工事	
12月18日 9時00分～	H24年度 田代の郷陸上競技場整備工事	
12月18日 10時15分～	H24年度 大井川(左岸)丹原災害復旧(護岸工その1)工事	
12月18日 11時15分～	H23年度 大井川災害復旧(護岸工)第4工区工事	
12月18日 13時30分～	H24年度 大井川伊太護岸災害復旧工事	
12月18日 15時00分～	H24年度 牧之原中線改良工事	
12月18日 16時30分～	㈱グローゾ本社集会所にてパトロール総評	

同行者 社長(12月17or18日)
土木部(12月17・18日)
安全環境管理室(12月17・18日)

現場安全パトロール実施予定表